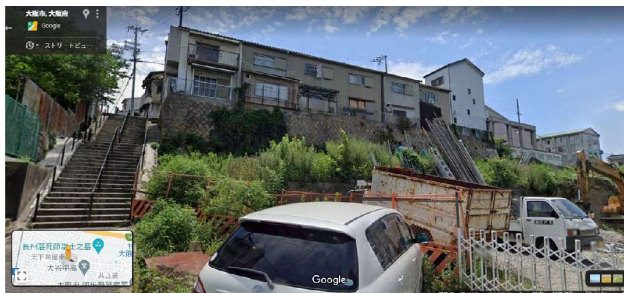


大阪市西成区の住宅地で擁壁が崩壊事故（2021年6月25日）



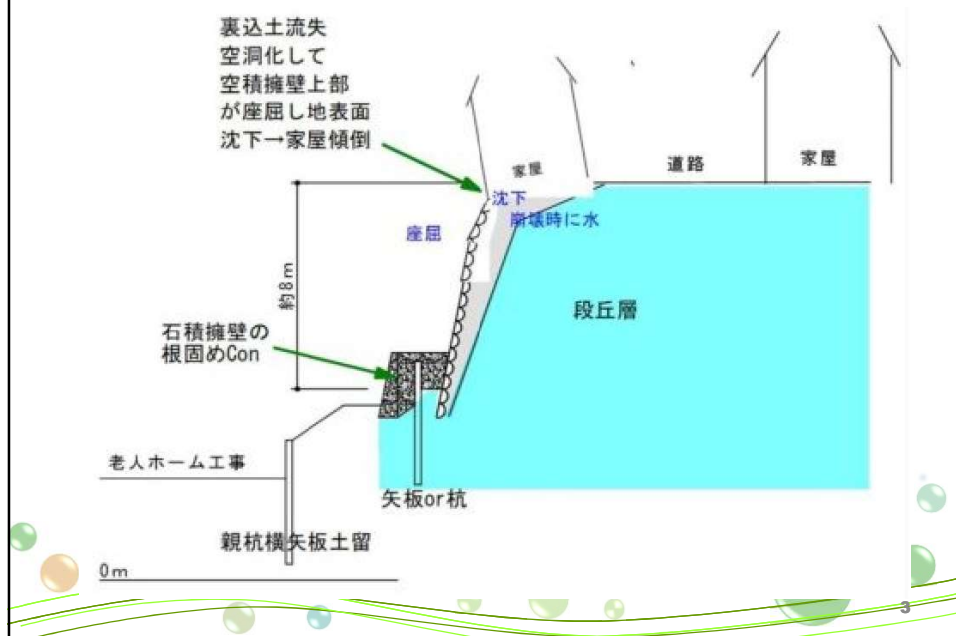
空石積み擁壁が上部から崩れ始め、住宅が転落しつつある様子、隣接する3階建ての戸建て住宅を支える擁壁と地盤も、上部が先に崩落している。

崩落前の現地写真



擁壁の北側の空石積み。裏込め土といしだけでつくられている。写真の左下部分にはふくらみが見られる。

推測される崩壊のメカニズム。



崖上からサービス付き高齢者向け住宅の現場を見下ろす。



基礎下の地盤と擁壁が崩落した  
状態で倒壊を免れた戸建て住宅

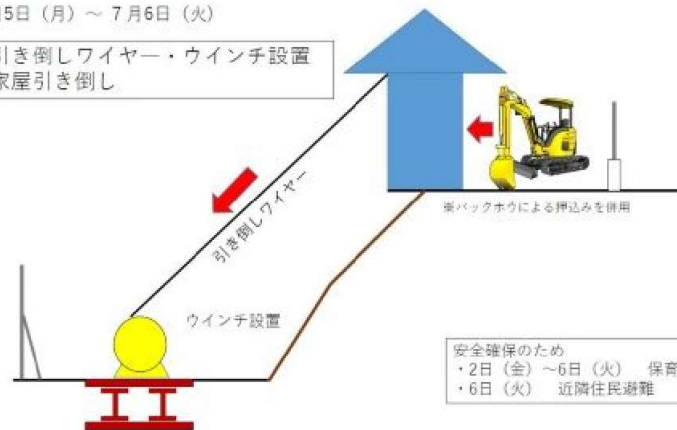


5

崩落を免れた3階建て住宅はウインチ  
を設置してワイヤーで引き倒す計画

7月5日(月)～7月6日(火)

③引き倒しワイヤー・ウインチ設置  
家屋引き倒し



安全確保のため  
・2日(金)～6日(火) 保育所休園  
・6日(火) 近隣住民避難

崩落を免れた3階建て住宅は、ウインチを設置してワイヤーで引き倒す計画だ  
(資料：大阪市)

6

## 西成で住宅2棟倒壊、「空積み擁壁」はなぜ崩れたのか



### ■危険な擁壁をどのように見分けるか

特に危険な擁壁として、1) ブロック擁壁  
2) 二段擁壁

#### 1) ブロック擁壁

ブロック擁壁は、コンクリートブロックを積み上げて造った擁壁です。土の底に底版がなく角度もない擁壁なので、大雨などで土圧が高まればパタンと倒れてしまいます。

#### 2) 二段擁壁

既存の擁壁に異なる素材増積みして造られたものです。上段と下段の接続部分の強度が弱く、倒壊の恐れが高い。

#### ●対策

撤去してやり替えるのが最高

ご清聴ありがとうございます  
被災宅地危険度判定連絡協議会

